

安八町立名森小学校の5年生を対象に防災体験学習を実施します！

～災害対策車両の見学、土のう作り体験などを実施～

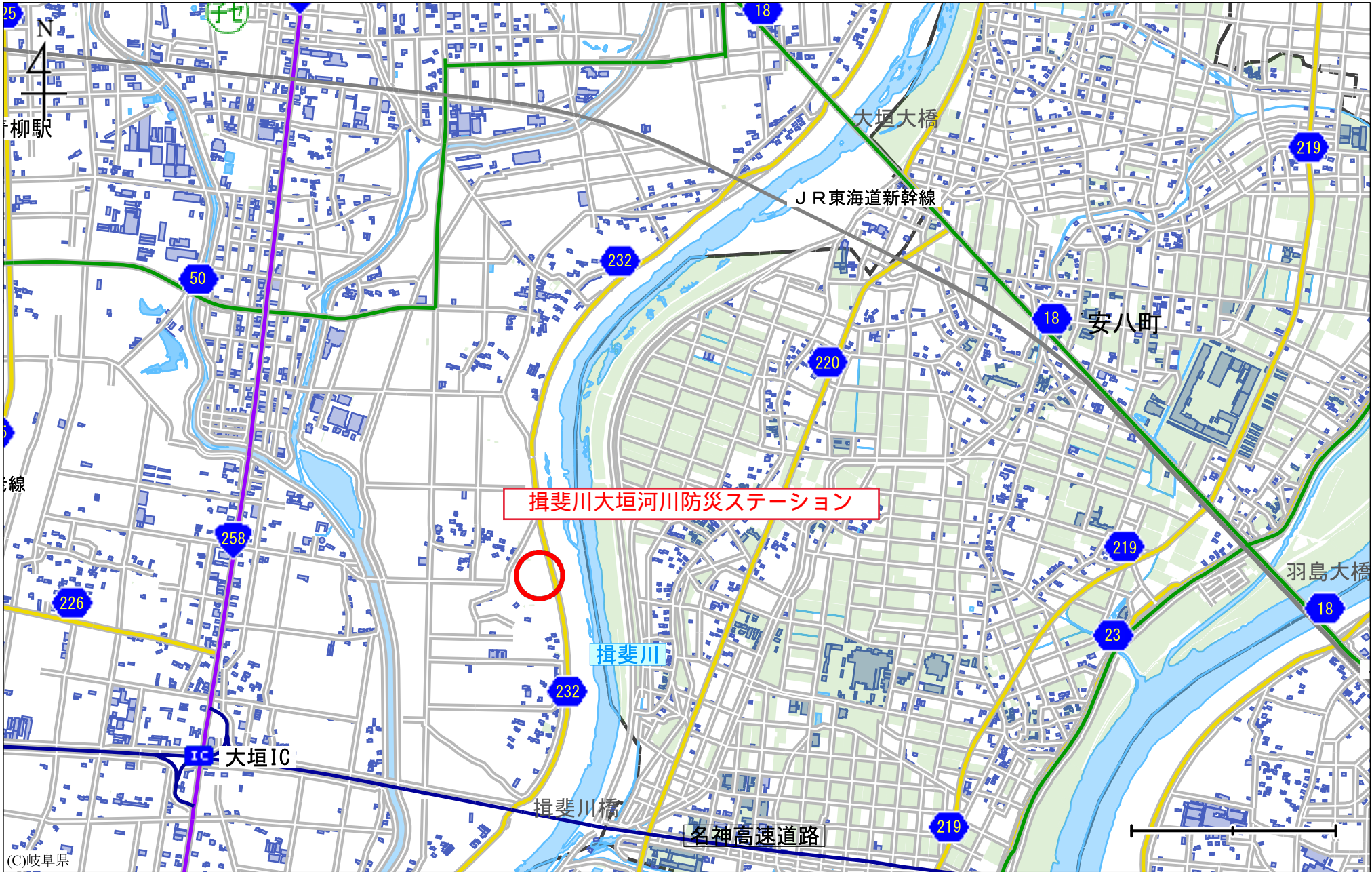
概要

幼少期からの防災教育を進めることは、自然災害に関する「心構え」と「知識」を備えた個人を育成することに効果的であり、これにより、子供から家庭、さらには地域へと防災知識等が浸透していくことが期待されます。

この度は、安八町立名森小学校の5年生を対象に、木曾川上流河川事務所が保有する「災害対策車両等の見学」及び「土のう作り体験」を実施します。

1. 開催日時 平成31年1月24日(木) 8:30頃から12:00頃まで
2. 開催場所 揖斐川大垣河川防災ステーション(大垣市馬の瀬町 地内)
※別紙1「位置図」参照
3. 対象 安八町立名森小学校 5年生(79名)
4. 詳細 (1) 災害対策車両等の見学(3班に分かれて車両等を見学します)
 - ①対策本部車: 車両拡幅後の車内を見学します
 - ②照明車: 児童達が照明の操作体験等を行います
 - ③排水ポンプ車: 排水ホースの接続体験等を行います
 - 河川パトロール車: 装備品の操作体験等を行います
 ※見学する災害対策車両の概要は「別紙2」のとおり
 (2) 土のう作り体験(3班に分かれて体験します)
 - ①土のう運び体験: 土のうを作り、運ぶ体験を行います
 - ②砂運び体験: 積み上げた土のうの間に砂を詰めます
 - ③土のう締め固め体験: 土のうを道具で突いて締め固めます
5. 協力企業 加藤建設(株)、高田建設(株)
6. 解禁 指定なし
7. 配布先 岐阜県政記者クラブ、大垣市政・経済記者クラブ
8. 問合せ 木曾川上流河川事務所
事業対策官 高橋 由典
TEL 058-251-1378(河川環境課直通)
FAX 058-251-1150

位置図



さいがいげんば かつやく さいがいたいさくしゃりょう

災害現場で活躍する災害対策車両

対策本部車 (たいさくほんぶ車)

【木曽上保有台数 1台】



げんち たいさく ほんぶ かつやく

◆現地対策本部として活躍

車体を拡幅した時の室内の広さは14畳で、災害現場で会議室や仮眠所として使用できます。無線機、FAX、TVなどを搭載。シャワー、トイレ、などを装備し、災害現場の対策本部として機能します。2台を連結することができ、さらに広いスペースを確保できます。



排水ポンプ車 (はいすいポンプ車)

【木曽上保有台数 4台】

やく から

◆小学校のプールを約10分で空に

内水はん濫で緊急に排水が必要な時に使用します。

1秒間にドラム缶約2.5本(30m³/分)の排水が可能、小学校のプールを10分ほどで空にすることができます。

1回の給油で約13時間稼働します。



照明車 (しょうめい車)

【木曽上保有台数 2台】

きんきゅうやかんさぎょう あんぜん こうりつ かくほ

◆緊急夜間作業の安全と効率を確保

災害現場で夜間に十分な明るさを確保し、緊急作業の効率を高めるとともに、安全な作業環境を確保します。

明るさは、グラウンドのナイター照明塔1基に相当します。

また、7階建ビルの屋上と同じ高さから現場を照らします。



(参考) 過去の体験の様子

(注)他の小学校の写真となります

対策本部車



照明車



排水ポンプ車



河川パトロール車



土のう作り体験等



土のう作り体験等

